

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2022年4月1日 223号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護



授乳



養豚



新体験

レダ訪問者たちに大人気の養豚場



自由に行動する豚たち。母豚と幼い子豚は豚舎で飼育する。



餌やり合団の鐘を鳴らすと、全力疾走で集まつてくる。

「アニマルウェルフェア」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか？

一般社団法人アニマルウェルフェア畜産協会のホームページによると、「アニマルウェルフェア (Animal Welfare) とは、感受性を持つ生き物としての家畜に心を寄り添わせ、誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り

少なく、行動要求が満たされた、健康的な生活ができる飼育方法をめざす畜産のあり方です。

欧州発の考え方で、日本では「動物福祉」や「畜産福祉」と訳されきました」とあります。

ここでは「アニマルウェルフェア」について詳述しません。ご関心のある方は、ウェブページを検索してみてください。

レダ(日陽園)では、牛、馬、豚、羊、ヤギ、犬、七面鳥などの家畜を飼育しています。過去には鶏卵用のニワトリも100羽ほど飼つていました。広大な土地があるため、いずれの家畜も「放し飼い」になっています。日中は自由に歩き回って食べ物を探し、繁殖行動をし、夕方になると豚舎、羊小屋、鶏舎など、それぞれのねぐらに帰つて夜を過ごすのです。

レダ基地を訪れるゲストたちが見てとても喜ぶのが、養豚場です。草原、湿地、ヤシ林などを自由に歩き回る豚を初めて見て、「レダの豚は世界一幸せな豚だ!」という感想もあります。豚に餌をやつたり、子豚を抱っこしたりして、豚と触れ合えることも魅力の一つです。

豚の行動範囲はかなり広く、流れを泳いで対岸の草原に行くこともあります。また、自由はあるのですが、その代わり、猛獣ジャガーの餌食となつて、命を落とすこともあります。

レダの豚は筋肉質で、その肉は脂肪分が少なくて固めですが健康的です。アニマルウェルフェアの考え方方が南北米とパラグアイ社会によく浸透すれば、レダの豚に高い付加価値を認める消費者が多くなり、商業生産に移行できるでしょう。

幸せな豚を育て、健康的な豚肉を!



レダの滑走路と果樹園(右)の間の道。小鳥が多い所。



上空より望むレダ基地(下)とパラグアイ川。左が上流。



大元氏

大元氏がレダに帰還

大元氏がレダに帰還 アスンシオンで静養生活をしていた大元勘治氏が、3月9日、約1か月ぶりにレダに帰つてきました。また元気よく活躍されるとでしよう。さつそく送られてきた写真をどうぞ。

レダ体験者へのリモートインタビュー

レダ体験者へのリモートインタビュー

源田 札奈（げんだ れいな）さん.. 昨年4月にレダに赴任した4名のボランティアの一人。今年2月に帰国するまで、他の3名と同様、熱心に奉仕活動をしてきました。第21回国際協力青年奉仕隊員。





岩澤所長の誕生祝にて、所長と源田さん。

A レダに初めて到着した時の印象は？
Q レダに到着した時、野生のワニを初めて見ることができ、とても嬉しかったことを覚えていいます。最初、蚊の多さや日差しの強さなど日本との違いに戸惑いましたが、その中で20年以上も歩んでもらえた先生方や、70代でも最前線で歩む先生方の姿を見て、驚きと尊敬の気持ちを持ちました。
Q レダで最も苦心したことは何ですか？

A 朝5時く夜7時頃までお仕事や全体でのスケジュールがあり、休憩時間もありますが、体力的に慣れるまでに時間がかかりました。Q レダで最もうれしかつたことは何ですか？
A レダで嬉しかったことは何ですか？
B 沢山あります



マリア・アウシリアドーラでは奉仕隊員として、日本水俣病研究会にて利水環波にてけふえを

レダ2022年のモットー「前進と発展」

3月5日、東京・渋谷で行われた当協会の定例集会において、一時帰国中の岩澤所長が、レダで歩来の展望とを語りました。

語る岩澤春比古所長

年4か月歩み、一番重要であると思つたこと、そ

してレダの今とこれから」でした。岩澤所長は、文総裁夫妻による日陽園プロジェクト提唱の理念を端的にまとめ、私たちが開拓当初より共有するビジョンを改めて明快に整理しました。現在の中心課題として、経済的自立を達成すること、若者をプロジェクトの中心者・責任者として育成し、基地スタッフの世代交代を進めるなどと列挙。そして、そのためには実行中の計画を、一つずつ具体的に説明しました。最後に、レダ2022年のモットー「前進と発展」を力強く宣布しました。

島田さんの家族がレダ移住を前にあいさつ

その定例集会のはじめ、記念すべきゲスト紹介の一幕がありました。それは、家族そろってレダに移住するため、今月23日に出発する予定の、島田賢二さん、香月さんと4人の子どもたち。小二の長男から、生後10か月の次女まで、2男2女を擁する総勢6名の家族です。「島田青年局長夫妻が、まだ幼い子を4人も連れてレダに移住する」という話は、「これまで何度も人々に伝えられてはいたものの、実体で揃つてのお披露目は初めてでした。

島田家の皆さん



プレゼント

盛大な拍手とともに6名が壇上に勢ぞろいすると、聴衆から感嘆の声がマスク越しに発せられました。そして賢二さんが一人ずつ家族の名前と年齢を紹介し、移住の決意と抱負を語りました。妻の香月さんは、感謝の言葉とともに「私たちの家族がレダに行くことで、他の独身青年や家庭青年たちが『自分たちも行こう』と思えるように頑張りたいと思います」と挨拶しました。映像を、最後に中田欣宏代表理事事からプレゼントが一人人に手渡されました。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821
FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行
記号10280 番号61349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール: office@asd-nsa.com
ホームページ: <https://asd-nsa.com>
Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット（印刷済み）、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。



<https://asd-nsa.com/nk/>

入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。
パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

レダ・プロジェクト紹介用 パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>